

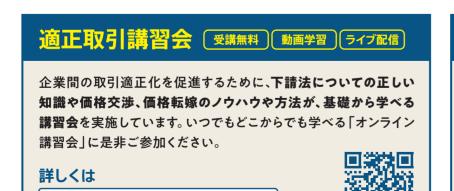
## 適切な価格転嫁を実現しましょう!

近年のエネルギーコスト、原材料、労務費の上昇や、ロシア・ウクライナ情勢、急速な円安進行により、 製造業を中心とした、企業における価格転嫁の重要性がますます高まっています。

中小企業庁で実施した調査では、価格転嫁ができた割合として、「3割~1割以下」との回答が最も多く、 「全く価格転嫁できていない」とする回答も約2割存在しており、価格転嫁が厳しい状況にあることが 判明しています。

政府では、この状況を解決するため、サプライチェーン全体で増加したコストを分担し、賃上げにも **結びつくよう、価格交渉・価格転嫁をサポート**していきます。

また、今回の月間終了後にも、中小企業に対して、価格転嫁に関する調査を実施する予定ですので、 調査票の送付のあった中小企業におかれては、積極的に調査への回答・御協力をお願いします。



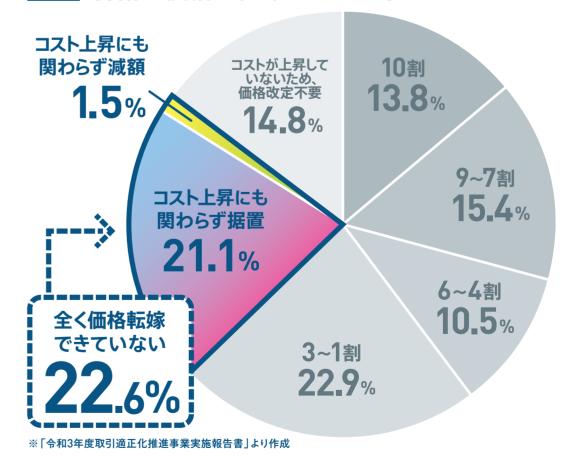
適正取引支援サイト

Qで検索



## 石油·石炭製品 金属·同製品 飲食料品 木材·木製品 電子部品・ デバイス ※日銀「輸入物価指数」より作成

直近6ヶ月間の全般的なコスト上昇分のうち、 何割を価格に転嫁できたと考えますか。 n=25575



## 9月は価格交渉促進月間です。

政府では「価格交渉促進月間」を設定し、中小企業による取引先への価格転嫁をサポートしています。

